

天塩町農業振興ビジョン

(第2期)

期間：令和4年度～令和8年度

1. はじめに

天塩町では、農業振興ビジョンが策定された後、平成28年度に農業支援センターが活動を開始し、農業者や関係機関と連携しながら、大型農業生産法人の設立、TMRセンターの設置など農業生産拡大、分業化に向けた各種取組が行われてきました。

これらの取組の多くは、農業振興ビジョンのなかに位置づけられた農業支援システムの各項目を活用しながら農業者や関係機関が検討しながら進められてきたものです。

一方で、各種取組が行われていく中で、当初は思い描かれていたものの、実現が難しいものも見られるようになりました。

これらを踏まえ、農業者のニーズを捉えながら、関係機関とともに評価・検証と見直しを行い、新たに「天塩町農業振興ビジョン（第2期）」として策定するものです。

2. 見直しの主な内容

- ① これまで農業支援システムの1つに位置づけられていた「サクシードファーム（研修牧場）の設置」について、活用される見込みがないことから、見直すこととしました。
- ② 「サクシードファームの設置」により期待される効果とされていた「農外からの研修生の参入」及び「農業後継者等の育成」については、「大型農業生産法人の設立」の期待される効果に位置づけることとしました。
- ③ 新たに「酪農ヘルパー業務を通じた担い手の育成」を農業支援システムの1つとして設け、その期待される効果として、「労働力の軽減」、「農外からの研修生の参入」、「農業後継者等の育成」を位置づけました。
(→ P2 「農業支援システム見直しのイメージ」)

3. 農業支援システム見直しのイメージ

旧 農業振興ビジョン		新 農業振興ビジョン		
項目（手段）	期待される効果（目的・目標）	項目（手段）	期待される効果（目的・目標）	見直しの内容
天塩町農業支援センターの設置	人材の有効活用 農業機械の有効活用 担い手業務の総合化 施策や業務の効率化	天塩町農業支援センターの活動	人材の有効活用 農業機械の有効活用 担い手業務の総合化 施策や業務の効率化	設置 → 活動
TMRセンターの設置	労働力の軽減 良質粗飼料の確保 搾乳牛の増頭 生乳生産量の拡大 畜産農家の生産拡大 農業所得の拡大	TMRセンターの設置	労働力の軽減 良質粗飼料の確保 搾乳牛の増頭 生乳生産量の拡大 畜産農家の生産拡大 農業所得の拡大	変更なし
コントラクター機能の拡充		コントラクター機能の拡充		
哺育牛預託施設の設置		哺育牛預託施設の設置		
育成牛預託施設の設置		育成牛預託施設の設置		
大型農業生産法人の設立	優良農地の利用集積 離農者等の雇用促進 生乳生産量の拡大 多角化等の事業展開	大型農業生産法人の設立	優良農地の利用集積 離農者等の雇用促進 生乳生産量の拡大 多角化等の事業展開 + 農外からの研修生の参入 農業後継者等の育成	→ 期待される効果を追加 サクシードファームの設置により期待される効果とされていた「農外からの研修生の参入」、「農業後継者等の育成」を追加。
サクシードファーム（研修牧場）の設置	農外からの研修生の参入 農業後継者等の育成	サクシードファーム（研修牧場）の設置	農外からの研修生の参入 農業後継者等の育成	→ 削除 「農外からの研修生の参入」、「農業後継者等の育成」の役割は、「大型農業生産法人の設置」及び「酪農ヘルパー業務を通じた担い手の育成」（新規）の期待される効果に位置づけ。
-	-	酪農ヘルパー業務を通じた担い手の育成	労働力の軽減 農外からの研修生の参入 農業後継者等の育成	→ 新規追加 既存農家：労働力の軽減につながる。 新規就農希望者：勤務を通じて経験を積む機会となる。

4. 酪農ヘルパー業務を通じた担い手の育成について

(1) 背景

既存農家

- ・酪農業においては、労働負担の軽減が課題。
- ・現在のヘルパー体制は慢性的に人員が不足。酪農家からは「予約がなかなか取れない」といった声。
- ・求人についても、なかなか応募がない状況。



新規就農希望者・担い手対策

- ・今後、農家戸数の減少が見込まれる中、新規就農が望まれるが、過去5年間の新規就農者はいない。
- ・相談は受けるものの、町内で受入れ可能な農家は見つからない。

(2) 方向性

新規就農希望者に、大型農業生産法人での研修と併せて、酪農ヘルパーとして勤務するという選択肢を提示。

(3) 期待される効果

既存農家

- ・ヘルパー人員の増加による労働負担の軽減。



新規就農希望者・担い手対策

- ・ヘルパーの業務を通じて、実践的な作業を経験することができる。
- ・様々な農家での業務を通じて、酪農業だけでなく地域への理解を深められる。

5. 評価・見直しに係る検討経過

時期	令和3年度（2021年度）										
	8月			9月			10月			11月	
	上旬	8/16	8/24 8/30	上旬	中旬	下旬	上旬	10/12	10/25	11/18	11/29
事項											
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン策定後の取組の経過、見直しについて説明。 ・評価目的、評価方法の説明。 ・見直しの方向性について、意見を照会。 ・アンケートの実施とその内容について説明。 						<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果 ・新ビジョン（案）について説明。 				

天塩町農業の方向性〔天塩町農業振興ビジョン〕

天塩町農業の現状、課題

- 農家戸数の減少
- 農業後継者が定着しない
- 分業化が進まない
- 経営者の高齢化
- 農外からの新規参入者が少ない
- 畜舎が古く効率的な作業ができない
- 生乳生産量の減少
- 労働過重

⇒ これらの課題は、改善された部分もあるが、引き続き存在。

展開方向

- 天塩町農業支援センターの活動（関係機関・組織との情報共有・連携調整、施策や業務の効率化）
- 農業支援システムの活用（TMRセンター、コントラクター、哺育・育成牛預託施設、大型農業生産法人、酪農ヘルパー）
- 畜産クラスター事業活用（畜舎、機械等の整備）
- 分業化の推進（コントラクターやTMRセンターの利用、哺育・育成牛の預託などによる労働力の軽減）

⇒ 基本的な方向性は維持しつつ、一部を見直し実情に即した形で展開。

期待される効果 = 天塩町農業、農業者の共通目標

- 生乳生産量の拡大
- 労働力の軽減
- 農業後継者の定着、農外からの研修生の受入 など
- 畜産農家の生産拡大
- 農家戸数・人口の維持
- 農業所得の拡大

天塩町農業振興ビジョンのイメージ

1 優秀な人材を育成

- 後継者の育成・確保、パートナーとの出会い
- 農業実習生・研修生、新規参入者の受入
- 法人経営化、ニューリーダーの育成
- 女性農業者、高齢者の活動促進

- ▽ 農業実習生・研修生等の募集
- ▽ ヘルパー業務を通じた担い手の育成
- ▽ 天塩町新規就農者等誘致促進事業

天塩町農業支援システム (窓口=天塩町農業支援センター)

- 天塩町農業支援センターの活動
- 酪農ヘルパー業務を通じた担い手の育成
- 育成牛預託施設の設置
- 哺育牛預託施設の設置
- コントラクター機能の拡充
- TMRセンターの設置
- 大型農業生産法人の設立

- ▽ 農地中間管理事業
- ▽ 交換分合事業
- ▽ 道営草地畜産基盤整備事業
- ▽ 国営農地防災事業
- ▽ 中山間交付金事業
- ▽ 経営所得安定対策（畑作）

- ▽ 畜産クラスター事業等
畜舎・機械等の整備
- ▽ みどりの食料システム戦略

2 儲かる経営を展開

- 生産方式の改善、農業支援システムの構築
- 生産性の向上、農業所得の拡大
- 生産技術の向上、労働環境の整備
- 酪農、畜産、畑作等の多様な農業形態に応じた支援
- 環境との調和、野生鳥獣による農業被害防止

3 草地資源を有効活用

- 農地・農業水利施設の保全、農地防災対策
- 担い手への農地集積
- 農地の集団化、交換分合
- 草地基盤を活用した和牛繁殖雌牛の放牧促進
- 耕種農家の輪作体系を活用した耕畜連携

天塩町農業振興ビジョンの期待される効果

天塩町農業支援システム

天塩町農業支援センターの活動

- 人材の有効活用
- 農業機械の有効活用
- 担い手業務の総合化
- 施策や業務の効率化
- 酪農、畜産、畑作等の多様な農業形態に応じた支援

酪農ヘルパー業務を通じた担い手の育成

- 農外からの研修生の受入
- 農業後継者等の育成

TMRセンターの設置、コントラクター機能の拡充、哺育・育成牛預託施設の設置

- 労働力の軽減
- 良質粗飼料の確保
- 搾乳牛の増頭
- 生乳生産量の拡大
- 畜産農家の生産拡大
- 農業所得の拡大

大型農業生産法人の設立

- 優良農地の利用集積
- 離農者等の雇用促進
- 生乳生産量の拡大
- 多角化等の事業展開
- 農外からの研修生の受入
- 農業後継者等の育成

天塩町農業のめざすべき方向

- 農家戸数、農家人口の維持
- 生乳生産量の拡大
- 畜産農家の生産拡大
- 新たな農業ビジネスの展開

農業者のめざすべき方向

- 農業所得の拡大
- 労働力の軽減
- 農業後継者の定着

天塩町農業支援システム

天塩町農業及び農業者のめざすべき方向（目標）を実現するために必要なシステム

- 天塩町農業支援センターの活動
- 酪農ヘルパー業務を通じた担い手の育成
- 育成牛預託施設の設置
- 哺育牛預託施設の設置
- コントラクター機能の拡充
- TMRセンターの設置
- 大型農業生産法人の設立

畜産クラスター事業等

天塩町酪農・畜産の収益性の向上を図るために必要な取り組み

- 畜舎・機械等の整備
- 搾乳ロボット等省力機械の導入
- TMRセンターの設置
- コントラクター機能の拡充
- 農業機械のリース

関連性

畜産クラスター事業等を活用

期待される効果

期待される効果

畜産クラスター事業等

畜舎・機械等の整備

- 労働力の軽減
- 搾乳牛の増頭
- 生乳生産量の拡大
- 畜産農家の生産拡大
- 農業所得の拡大

搾乳ロボット等省力機械の導入

- 労働力の軽減
- 搾乳牛の増頭
- 生乳生産量の拡大
- 農業所得の拡大
- 農外からの研修生の受入
- 農業後継者等の育成の促進

コントラクター機能の拡充、TMRセンターの設置

- 労働力の軽減
- 良質粗飼料の確保
- 生乳生産量の拡大
- 農業所得の拡大

農業機械のリース

- 労働力の軽減
- 生産性の向上
- 農業所得の拡大

天塩町農業の将来像

夢を持ち、やる気が出て、儲かる農業

大きな農家も小さな農家も安心して経営できる農業

農村の若い人、女性、高齢者がいきいきと活動できる農業

天塩町農業振興ビジョンと畜産クラスター計画の関連性

